

哲學研究

第五百九十八號

平成二十六年十月十日發行

カントの誤謬論 —……………福谷茂

プラグマティズムと形而上学

—ウィリアム・ジェイムズとフェルディナンド・

C・S・シラーを中心に……………冲永宜司

エナクティヴィズムと意識のありか

—〈拡張した意識〉への反論—……………呉羽真

京都大學大學院文學研究科内

京都哲學會

京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は委員会の中から互選により代表一名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、委員会の中に「哲学研究」の編集委員会をおく。
- 五、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 六、本会は会員組織とし、会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 七、会員は年会費六、〇〇〇円を納める。
- 八、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に参加することができる。
- 九、本会は事務所を京都大学大学院文学研究科内におく。
- 十、規約の改正は委員会の決定による。

京都哲学会委員

*
 松藤福平根中中出太田周杉櫻兒氣川落字上伊伊板伊芦蘆
 田田谷川立村畑口丸中藤村井玉多添合美原藤藤倉田名田
 素和 佳研俊正康 紀多靖芳 雅信惠文麻公和昭哲定
 二生茂世介春志夫博行紀彦雄聰子介子理子雄行二治道宏

水 宮 吉
 谷 崎 岡
 雅 泉 洋
 彦 彦 彦
 (* 京都哲学会代表)

会 告

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月三日(月・祝)午後一時半

会場 京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール

一、一九世紀科学哲学を現代の目で振り返る

.....京都大学大学院准教授 伊勢田哲治

一、アートは宇宙でなにかができるか京都大学名誉教授 岩城見一

——京都市立芸術大学AASによるいくつかの実験をめぐる——

※ 右終了後京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールにおいて懇親会(パーティー形式)を開きます。(会費五千円)

※ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京都哲学会までお申下下さい。

平成二十六年九月

京 都 哲 学 会

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一―一四〇三九 京都哲学会）宛に年会費六、〇〇〇円をお支払下さい。また会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に関する一切は東京都千代田区麴町二―六―七 創文社（振替口座〇〇―二〇―〇一―九二四七二）宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編集事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編集に関する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

一、本誌への論文の投稿は、原則として本会会員のみ受付け、掲載の可否については、編集委員会と編集委員会で委嘱した委員（若干名）の査読を経て、編集委員会で決定する。（本会主催の公開講演会の講演原稿の掲載など、編集委員会依頼による論文掲載については、この限りではない。）

京 都 哲 学 会

〒六〇六一八五〇一
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科内
（〇七五―七五三一―二七三三）

平成二十六年十月五日 印刷
平成二十六年十月十日 発行

編集兼 京 都 哲 学 会
発行人 京 都 哲 学 会
編集委員 福 谷 正 志 茂

中 畑 正 志 茂
字 佐 美 文 理
松 田 素 二

発 売 所 株 式 創 文 社

久 保 井 浩 俊

〒一〇二一〇〇八三
東 京 都 千 代 田 区 麴 町 二 一 六 一 七
電 話 〇 三 一 三 二 六 三 一 七 一 〇 一
振 替 〇 〇 一 二 〇 〇 九 二 四 七 二

印 刷 所 株 式 会 社 曉 印 刷

註 文 規 定

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（二部、送料七
三円）前金にてお送り下さい。

平成二十六年十月五日印刷
平成二十六年十月十日發行

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 598

October

2014

Articles

Kant's Theory of Illusions (1)Shigeru FUKUTANI

Pragmatism and Metaphysics

—Examining the thoughts of William James and

Ferdinand C. S. Schiller—Takashi OKINAGA

Enactivism and the locus of consciousness

—Against the extended consciousness—

.....Makoto KUREHA

Published by
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-10 定価 2,700 円 (8%税込) 本体 2,500 円